



# たぐいまれな詩情 全世界で絶賛の

## ベルリン・天使の詩

ヴィム・ヴェンダースが「パリ、テキサス」から3年ぶりにつくった新作「ベルリン・天使の詩」はベルリンを舞台に、ヴェンダースが10年ぶりにドイツに帰ってつくった、全篇にユーモアと詩情をたたえつつ、ベルリンとドイツに対する思いを大きく深く美しく描ききった傑作で、1987年のカンヌ映画祭に登場して最優秀監督賞を受賞（「パリ、テキサス」でグランプリを受賞したばかりの連続受賞）して、各国の公開でも、熱い絶賛につつまれて大ヒットしている。

ドイツでは、●詩情と人間愛にみちた映画がここに誕生した。ヘランクフルター・アルゲマイネ紙 ●ユートピアの気配を濃く漂わせた映画。憧れと希望と夢にくっきりと



# ベルリン・天使の詩

DER HIMMEL ÜBER BERLIN

■1987年カンヌ国際映画祭最優秀監督賞

■ヴィム・ヴェンダース監督・脚本作品  
BOW 日比谷シネマ映画社配給



SEEDS/CRIME&THE CITY SOLUTION  
ドイツ映画(西独=仏合作)©ROAD MOVIES+ARGOS FILMS 1987/イーストマンカラー+モノクローム(1×1.66)/ドルビー・ステレオ(サントラ盤ビクター・レコード/2時間8分・7巻・3,505m

マリオン……………ソルヴェイグ・ドマルタン  
天使カシエル……………オッター・ザンダー  
老詩人ホメロス……………クルト・ボワ  
ピーター・フォーク……………ピーター・フォーク  
ミュージシャン……………NICK CAVE&THE BAD

輪郭を与える詩的造形力が見事だ。子供の時のように天使の姿を見れなくなった大人にもその視力が回復する望みが湧いてくる。デイー・ツァイト紙 ●やさしいユーモアと現実感覚とをそなえたメルヘン。洗練の極みにある心のこもった傑作。天才的離れ技がぎつしりと詰まった、何度でも繰りかえして見たくなる映画だ。ヘデー・ヴェルト紙。

フランスでは、●最初のイメージから、奇跡が、燦然と静かに起きている。映画を見た後、いつのまにか、映画(天使)の訪れを受けたと感じる映画。ヘル・モンド紙 ●ほか、おそろく我々が長い間見えてきた映画のなかで、最も美しい映画のひとつだ。傑作であるとの確信がゆるがない映画。ヘラシオン紙。

●一瞬一瞬感嘆しつづける映画。心と知性に語りかける見事な証言。偉大な映画作家のみがつくれる無類の映画。フランス・ソワール紙 ●傑作だ。生まれた今すでに古典であり、10年後も20年後も変わらぬ喜びで見続ける映画だ。ヘグロブ誌 ●最も美しいラブ・ストーリー。アンリ・アルカンの、時にカラーに

移るモノクローム撮影の驚くべき魔術。ハントケのテキストはエモーションの精髓だ。どんな賛辞も及ばぬほど、この作品は感動的に美しい。ヘアルミエール誌。

アメリカ「ヘアラエティ」紙の「崇高なまでに美しく、深くロマンチックな作品で、ヴェンダースはドイツに帰還した」ほか、イギリス、イタリア、スペイン、ベルギーなど、厳しい評で知られる各国の映画評が、これほどまでに純粹に感動を告白した映画はきわめて稀だ。

### 天使は、恋をすると死ぬ

主人公は天使。  
天使は人を見護り、人の内心の声を聞き、いつでも、どこにでも行ける。人がつくった壁、西と東に分けるベルリンの壁も天使には無用だ。その万能の天使にもできないことはある——人間になることはできない。まして、人に恋したりすると、天使は死ぬ。ベルリンの天使ダミエル(ブルーノ・ガンツ)は、親友のまじめな天使カシエル(オットー・ザ

音楽……………ユルゲン・クニーパー  
編集……………ベーター・ブルジゴッダ  
製作……………アナトル・ルドーマン  
[キャスト]  
天使ダミエル……………ブルーノ・ガンツ

[スタッフ]  
監督・脚本・製作……………ヴィム・ヴェンダース  
脚本協力……………ベーター・ハントケ  
撮影監督……………アンリ・アルカン  
美術……………ハイディ・リュディ

ンダー)が心配するのにも平気で、人間になりたいといい、不思議な映画スター、ピーター・フォーク(ピーター・フォーク)にそそのかされもして、翼をつけた空中ブランコ的美女マリオン(ソルヴェイグ・ドマルタン)に恋をしてしまう……。

現在の世界映画の最高水準で結集したと言えるキャスト・スタッフで、特に、モノクロームとカラーを夢のように美しいイメージで「美女と野獣」いらいのみずみずしさを少しも失わずにくりひろげてくれるアルカンの撮影、そして言葉の美しさを心にしみこませるハントケの台詞は驚異的だ。

全篇にちりばめられたロックの数々の名曲とクニーパーの弦の響きも、ヴェンダース初のドルビー・ステレオ・サウンドで、新鮮にとけあつて忘れ難いサウンドをつくっている。

88年のはじめ、世界で最も進んだ国際映画祭として名高いオランダのロッテルダム映画祭が催した「明日の映画世界になう映画作家」のアンケートで、ヴィム・ヴェンダースは第1位に選ばれている。

4月23日(土)よりG・W  
独占ロードショー

日比谷シャンテ・合歓の広場前  
シャンテシネ2  
(591)1511

特別鑑賞券1200円絶賛発売中!  
(当日一般1500円、大・高生1300円のところ)

- 特別鑑賞券は、劇場窓口の他、都内各プレイガイド、大学生協、チケットぴあ、チケットセゾン、丸井チケットガイドで前売中です。
- グループ鑑賞のお申込は、劇場(591)1511または(株)メイジャー(541)2508へ。
- 上映時間(連日)

11:00	1:35	4:10	6:45
-------	------	------	------